

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	健康課長 森下 直彦
主管課(関係課)【2】	健康課

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑2-1 健康づくりの推進		元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	<p>市民自身が健康づくりに取り組み、健康に暮らしていくためには、健康づくりに関する自主的な活動を行う団体への支援や、新たな生活習慣病や食に関する情報提供、各種の健康診査を受診できる環境の整備が必要です。</p> <p>さらに、市民の健康をサポートするために小児医療・休日医療の充実、医療に関する情報など、地域医療に関わる基盤整備についても積極的に取り組むことが求められています。</p>		<p>・市民の自主的な健康づくりの支援</p> <p>・生活習慣病などへの対応を含めた健康診査の実</p> <p>・健康相談・教育の充実</p> <p>・小児救急医療、休日医療の充実</p> <p>・市民ニーズに沿った医療情報の提供</p>	<p>乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。</p>
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
<p>◇子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンについては、平成25年4月より定期予防接種化が実施されます。</p> <p>◇任意予防接種に位置づけられている、おたふくかぜ、みずぼうそう、成人用肺炎球菌、B型肝炎の4ワクチンについても、厚生労働省において定期予防接種化の検討がなされています。</p>				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	市民の主体的な健康づくりを支援します	市民の自主的な健康づくりの支援	
	2	地域医療体制の整備・充実を図ります	小児救急医療及び休日診療体制の整備	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「健康づくりの支援など保健事業の充実」に対する市民満足度	目標値	40%			単位	%	
		算出式・説明	特定健診・保健指導の開始など、健康づくりへの社会的要請は高まっています。市としても市民の健康づくりへの支援を充実させる必要があります。市民意識調査で把握します。	実績値	27.1	27.1	27.1	25.7	25.7	26.8
				達成率	68%	68%	68%	64%	64%	67%
	指標2	名称	「地域医療体制の整備」に対する市民満足度	目標値	30%			単位	%	
		算出式・説明	少子高齢化が進む中、市民が生活する身近な地域における医療体制の整備を行うことが、市民の心身ともに健康増進につながります。市民意識調査で把握します。	実績値	22.6	22.6	22.6	21.5	21.5	23.5
				達成率	75%	75%	75%	72%	72%	78%
	指標3	名称	特定健康診査の受診率	目標値	65%			単位	%	
		算出式・説明	ライフステージに応じた健康づくりのためには、市民が自身の健康状態を把握することが必要です。平成20年度から医療保険者に特定健診・特定保健指導が義務づけられました。市は、国民健康保険の保険者として特定健診を実施することとなります。	実績値	-	40.7	41.4	42.7	44.4	
				達成率	0%	63%	64%	66%	68%	0%
	指標4	名称	平日の準夜間における小児初期救急医療体制の確保	目標値	10回			単位	回	
		算出式・説明	北多摩北部医療圏4市(東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の共同事業として、19年7月から多摩北部医療センターと佐々総合病院で実施しています。目標値の単位は、延べ回回数としています。	実績値	5	6	8	8	8	
				達成率	50%	60%	80%	80%	80%	0%
達成率の平均値				48%	67%	72%	71%	71%	36%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	24.9%	満足度(%)	23.6%	満足度(%)	25.1%
満足度(平均ポイント)	-0.1	満足度(平均ポイント)	-0.11	満足度(平均ポイント)	-0.01
重要度(%)	81.5%	重要度(%)	79.2%	重要度(%)	77%
重要度(平均ポイント)	1.34	重要度(平均ポイント)	1.29	重要度(平均ポイント)	1.22

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇健康づくりの支援については、平成23年8月に健康都市宣言を行い、市の健康づくりの姿勢を市民に提起してきました。それに伴い、各種の健康診査、がん検診、保健指導、相談などの支援メニューの充実を図ってきましたが、周知・啓発に努め、市民の健康づくりへの意識醸成を図り、市民満足度を高めていく必要があります。 ◇地域医療体制の整備に関しては、医科・歯科について休日診療体制など充実に努めるとともに、小児初期救急医療体制については、4市（東村山市、東久留米市、清瀬市、西東京市）の共同事業として整備を図ってきました。平日の準夜間帯の午後7時30分～午後10時30分で、多摩北部医療センターでは月～金曜日の5日間、佐々総合病院では月・水・金曜日の週3日間を確保しています。また、地域リハビリテーションについては、医療・保健・福祉の関係機関による定例会議を開催し、ネットワーク化に向けた活動を開始しましたので、その充実を図るとともに、市民周知に努め、市民満足度を高める必要があります。 ◇特定健診、がん検診の受診率については、市独自の検査項目の追加など、この間、内容の充実を図ってきましたが、受診率の向上が課題となっています。 ◇任意予防接種については、子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの公費負担助成を実施し、新たに市民・市議会・医師会からの要望もあったおたふく・みずぼうそうワクチンの公費負担助成を実施し、充実を図ってきました。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇健康づくりに対する市民意識を高めるために、市報やホームページ等、恒常的に利用できる媒体を通じて、周知・啓発に努めていきます。 ◇地域医療体制については、現状で確保した休日医療、平日準夜間の小児医療の体制を維持するとともに、地域リハビリテーションなど、地域の連携により、市民の健康増進を図っていきます。 ◇子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンについて、定期予防接種化されたが、おたふくかぜ・みずぼうそう・成人用肺炎球菌、B型肝炎の4ワクチンの任意予防接種についても、各種ワクチンの定期予防接種化の検討がされているので、国の動向を注視しながら、地域間格差などが生じないように財政支援等の取り組みを要望していきます。 ◇特定健診の受診率向上に向けては、ライフステージに即した情報提供など、きめ細やかな市民周知を拡充し、健診への意識向上を図っていきます。 ◇がん検診については、市民意識調査を含め、受診率の向上及び検診精度の向上と合わせてサービスの利用者負担の適正化についても検討していきます。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】 健康づくりの推進については、これまでも施策内容を拡充し、必要なコストを投下する方向性で取り組んできたところですが、これに加え、平成23年8月に健康都市宣言を行い、これに基づく支援メニューの充実、地域医療体制整備、特定健診、がん検診に関する市独自の検診項目追加、子宮頸がんワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン・おたふく風邪・みずぼうそうワクチンの予防接種公費負担の実施など、前回施策評価において拡充すべきとされてきた事業についても的確に対応してきました。 市民意識調査結果における重要度認識は低減傾向にあります。相対的には高水準にあるため、これまでに施策内容を拡充してきたことで得られた水準を維持すべきことと判断しました。 今後においては国の動向をはじめとした周辺状況の変化を注視するとともに、コストについては第三次行財政改革大綱に基づき、がん検診サービスの利用者負担導入について検討を進めることで、効率化を図ることとします。	
施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	妊産婦・新生児訪問指導、5歳児歯科健診、母子健康教育相談事業の実施	健康課	<p>計画事業の経費としては、5歳児歯科健康診査事業を計上しています。</p> <p>口腔の健全な発育・発達を推進することを目的に、永久歯の萌出が始まる5歳児を対象に、市内の歯科医療機関で虫歯予防の健診、歯科保健指導、フッ化物塗布などを個別に実施しています。</p> <p>周知を行ったうえで、個別に該当者に通知して指定医療機関に予約の上、無料で健診を受けることが出来ます。</p>
	健康相談、栄養相談、健康教育、健康診査、成人歯科健診、がん検診、機能訓練の実施	健康課	<p>計画事業では、がん検診事業のうち乳がん検診に関する経費を計上しています。</p> <p>乳がん検診の対象は40歳以上で偶数年齢の女性市民を対象にマンモグラフィ（乳房エックス線検査）および視触診を無料で行っています。</p> <p>また平成21年度からは、国庫補助を活用して、それとは別に女性特有のがん検診推進事業として、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳に達した女性の方に、『乳がん検診無料クーポン券』及び『がん検診手帳』を送付して受診の機会を増やしています。平成24年度は都包括補助(3年間)を活用し、無作為抽出市民5,000名とがん検診受診者2,500名対象に調査を実施し、受診率向上の具体策及び利用者負担適正化の検討を行う。平成25年度は受診率向上策のモデル実施。平成26年度は利用者負担適正化の検討結果をふまえた対策の実施を目指す。</p>
	健康づくり事業の実施	健康課	<p>「西東京市健康づくり推進プラン」は、西東京市を「全ての市民が、乳幼児から高齢期までの一生を通じて健やかで心豊かに生活できる活力ある都市（まち）」としていくことをめざし、平成16～24年度までを計画期間としています。平成23年度に市民意識調査と総合的な評価を行い、平成24年度は次期10年間の計画を策定します。また、健康づくりに関する基礎知識の普及など健康づくりを推進するためのイベントを実施しています。</p>
2	小児救急医療体制の整備	健康課	<p>平成19年7月から西東京市、東村山市、清瀬市及び東久留米市の4市共同と5市医師会（前4市医師会と小平市医師会）の協力で、多摩北部医療センターと佐々総合病院において、平日準夜間小児救急医療を実施しています。</p> <p>15歳以下の子どもで急な発熱、腹痛、下痢など、平日の準夜間の診療は、多摩北部医療センターでは月曜～金曜の午後7時30分～10時30分、佐々総合病では月・水・金曜の午後7時30分～10時30分に受診することが出来ます。</p>
	地域リハビリテーションの構築について調査・研究	健康課	<p>地域リハビリテーションとは、障害のある人々や高齢者及びその家族が住みなれたところで、医療・保健・福祉などがリハビリテーションの立場から連携・協力しあって行う活動です。</p> <p>北多摩北部医療圏医療機能連携協議会の動向を踏まえつつ、ネットワーク化に関する連絡体制の基盤を整えていきます。</p>
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
8,270	7,453	817	継続実施 (平成20年度)	上	乳幼児とその保護者に対して、健康診査を実施して市民の自主的な健康づくりを支援することができます。	A
46,323	44,323	2,000	抜本的見直し (平成23年度)	中	がん検診を実施することにより、市民の主体的な健康づくりを支援することとなります。	A
2,581	948	1,633	継続実施 (平成22年度)	中	「西東京市健康づくり推進プラン」は、国の「健康日本21」及び「健やか親子21」の地方計画として、市民が主体的に取り組む健康づくりを総合的に推進するための指針と位置づけています。	B
6,763	6,600	163	継続実施 (平成19年度)	中	平日準夜間の小児救急医療を実施して、地域医療体制の整備・充実を図ることができます。	A
1,272	47	1,225	継続実施	—	効果的なりハビリテーションのあり方を調査・研究して、地域医療体制の充実を図ります。	B
65,209	59,371	5,838				